

## 横浜 FC 事業部スタッフとゴール裏応援団体とのミーティング議事

日時：2023年2月2日（木）

参加者：

横浜 FC：北澤、松本、杉尾、笠井、佐藤

ゴール裏応援団体：4名

Tifosi Yokohama 1992、Yokohama Gateways、ETERNAL BOYS

### ■議題

2023シーズンに向けたスタジアム施策に関する現状の整理と再協議した結果をふまえ、ゴール裏応援団体からいただいた要望に対しての再回答。

### ■事業責任者より

横浜 FC 北澤)

まず、これまでの進め方やコミュニケーションの部分で至らない点があった。

今後は反省しながらしっかりと取り組んでいきたいと思っている。

まず最初に申し訳ないというところをお伝えさせていただきたい。

現状、一般のサポーターの方々も困惑されている様子や開幕に向けて不安にさせている状況になっていると感じており、このままでは前には進めないと思っている。

今までの事を整理しながら今後の改善をしていくとともに、今後どう対応していくかというところは話していかなければいけないと思っている。

クラブ内でも大きな事案と捉え、これまでの整理と今まで頂いた要望に対して社内で確認しながら今後の対応を考えている。こういった状況に関して、対外的にも透明性をしっかりとすることは必要と考え、今回のミーティング内容に関しては議事として残し、対外的にも発信・リリースしていきたい。

### ■改めて目的を説明

横浜 FC 北澤)

まず、クラブが目指しているところは以前から何度もお話しているが、スタジアムを満員にしていくこと。その目標は変わらない。

そのためには、安心安全なスタジアムを作っていかなければいけないと思う。

安心安全なスタジアムでなければ、その先の満員のスタジアムを実現することは難しいことだと思っている。

これまでもクラブスタッフが、試合中にゴール裏の巡回をしているが、その度に注意をしている。(ホームゲームではゴール裏に限らず全エリアで巡回を実施)

昨シーズンに関しては、先日、代表の木村からも伝えたように、クラブからも声明(2022年5月3日)を出したこともあったので、ここに関しては、スタジアムは絶対に安心安全な所だということ、そのためには、ゴール裏の皆さんの協力体制がなければこの目指す姿は作っていけないと思っているのでそこは強く要望したい。

## ■以下の資料を確認しながら説明

### ■前提

HAMABLUEにそまった満員のスタジアムを目指す。

その姿を実現するために、安心・安全な来やすいスタジアムをつくるのが方針。

過去再三に渡って注意喚起、協力を要請してきたが改善されない状況に対して、秩序を持つことが必要。

**「ゴール裏の現状を改善すること」、「応援の中心としてクラブと協力していくこと」を強く要望します。**

### ■ご要望に対して

	オフィシャル応援エリアにおけるクラブカラーの着用	掲出物の事前申請	登録団体の申請
現行	<ul style="list-style-type: none"> <li>●HAMABLUEもしくはクラブオフィシャルウェアの着用が条件</li> <li>●防寒、雨の観戦時も着用を推奨する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●すべての掲出物の事前申請</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●オフィシャル応援エリアで先導する団体は団体登録</li> </ul>
要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オフィシャル応援エリアにおけるドレスコード緩和</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般の方の個人のゲーフラ類等の事前登録の緩和</li> <li>・横断幕を貼るエリアに関して</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体からの申請以外での登録者の共有</li> <li>・事前コミュニケーションの場を設定</li> </ul>
以前の返答	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リリース&amp;QAの内容のまま進めさせていただく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国籍選手の国旗は承認。</li> <li>・メモリアルメッセージの掲出は柔軟に対応できるよう検討中</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで通りで問題なし</li> <li>・現状は登録申請はなし(12/2時点)</li> <li>・運営コミュニケーションを取り、スタジアム全体での取り組みを希望する</li> </ul>
回答	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着用義務は無し(HAMABLUEカラー推奨)</li> <li>⇒ただしブルーを取り入れることへの協力は強く要望させていただきます。(クラブカラーで埋まったスタジアムという理想は変わらないため)</li> <li>・シーズン中、協力いただく体制含めて、来シーズン以降の方針は判断とさせていただきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般の方も含めて事前申請は継続。</li> <li>※クラブが把握していない所で問題となる掲出物を掲出したり、準備されていた過去があるため、申し訳ございませんが一律で“把握”することを目的に申請は継続とします。</li> <li>・メモリアル関係は当日受付可</li> <li>・その他、運用を実際しながら柔軟に対応可能なところを検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで通りで問題なし</li> <li>・責任者を明確にし、応援の中心地として、改めてクラブとの協力体制を構築</li> </ul>

## ・オフィシャル応援エリアにおけるクラブカラーの着用

### 横浜 FC 北澤)

前提として「常に HAMABLUE に染まった満員のスタジアム」という目標があるが、その姿を実現するためには安心安全な来やすいスタジアムにするというのが必要。

これまでもクラブはゴール裏の方々のルール違反を確認していて、皆さんには協力もしていただいたが、この現状はゴール裏の一部の方に再三に渡って注意をしてきているが、この状況は改善されていない。そのため改善していかねばいけない。

また、応援の中心地として協力していくことを強く要望する。

以前ミーティングした際にいただいた要望の中で、オフィシャル応援エリアでのドレスコードの緩和という話をいただいた。

その要望の中で、ブルーの服を着る協力はしていただけるということは記載して頂いてい

たので、着用の義務は見送り、HAMABLUE カラーの着用は推奨する形とさせていただきたいと思う。

ただし、安全なスタジアムでないと HAMABLUE で染まった満員のスタジアムという理想は実現できないので、ゴール裏の皆さんにもお話いただきながら着用にご協力いただきたい。

その中で、HAMABLUE カラーの着用だけではなく、安心安全という部分でルールや観戦マナーの遵守、協力体制をこれまで以上に強くしていきたい。

そうしたうえで、コミュニケーションを通しながら、今後改善できたのかどうかを見て次の方針の判断をさせていただく。

#### ・掲出物の事前申請について

##### 横浜 FC 北澤)

一般の方の個人のゲーフラ等の事前登録の緩和という要望をいただいたが、一般の方も含めて事前申請は継続させていただく。

過去にもクラブが把握できていない中で、禁止する掲出物が表に出てしまった事があったためゴール裏に限らず、スタジアム全体で取り組まなければいけないことと考えている。

その中でメモリアルな掲出物（選手の記録達成など）は試合当日に申請ができる体制をとる。また、今回の事前申請は初めての取り組みであり、サポーターの皆さんに負担をかけさせたいわけではないので、運用方法を変更しながら柔軟に対応していこうと考えている。

#### ・オフィシャル応援エリアでの団体登録を説明

##### 横浜 FC 北澤)

クラブからは「ゴール裏の応援の中心地としての協力」、「ゴール裏の現状を改善すること」この2点を大前提とするので、団体としても責任者を明確にしていきたい。

団体登録申請書を通して申請していただいたのち承認する。太鼓やコールリーダーの専用席も一緒にまとめていただきたい。1点、太鼓・コールリーダーの専用席については席をクラブで確保しているものになるため、シーズンシートの購入は必要になる点、ご了承いただきたい。

#### 応援団体)

Q. 以前までは「代表者」だったが、今回は「責任者」と記載されている。

「責任者」ということは、それに何か付いてくるものはあるのか？

##### 横浜 FC)

A. 安心安全なスタジアムをつくっていくうえで、クラブと対話しながら団体のメンバーに話して頂くことや、観戦ルール・マナーを守れない方がいれば（グループ内で）注意し改善していただきたい。そういう意味で責任者という表現をさせてもらった。

応援団体)

Q. 最終的な登録団体としての条件はなにか？

横浜 FC)

A. 「安心安全なスタジアムづくり」「応援の中心地としてクラブとの協力」ということ。

応援団体)

具体的に何かという条件を細かくしていく話ではなく、以前話した 1 案件ずつやっていこうよということでもいいか？

スタジアムづくりという点でいくと例えば、喫煙場所の問題など。そういったものも入ってくるのか。強制ではなく、「努めます」というところにおさめてもらったのはクラブとしても 1 歩譲歩してもらったのかとを感じる。

Q. 一般も含めて事前申請は継続するが、具体的に出た NG の例で基準が出来たと思うので HP にも参考として出した方がいいのでは？

横浜 FC)

A. 改めて掲出物については NG の詳しい例をリリースに掲載する。

応援団体)

Q. アウェイゲームでの掲出物に関してはどのような方法を取るのか？すでにアウェイクラブとの折り合い、地方にいる横浜 FC サポーターが知らずに当日に持ってきた掲出物の場合など。

横浜 FC)

A. 今後、アウェイの各クラブと連携していく。既にそのように実施しているクラブはある。アウェイゲームでの管理責任は、当該クラブにもあるため、帯同するなどして確認していく。その内容に関してはアウェイ試合のリリースなどに入れて開幕前に周知していく予定。

## ■今後の流れ

応援団体)

Q. 今後の流れはどうなるか？

横浜 FC)

A. 本日の流れは、ホームページでクラブと応援団体とのミーティングを議事録としてリリースを予定。

その後もアクションをしないとどうなったかと不安にさせてしまうので、今回の話の内容を踏まえて持ち帰っていただき、1 週間（2 月 9 日（木））を目途に回答を頂きたい。

頂いた回答をもって、今の状況を踏まえて判断。

**横浜 FC)**

明確に変更（予定）したオフィシャル応援エリア等の内容については新しいリリースを出す方が明確になるのでその方向が良い。

**応援団体)**

Q. コールリーダーのリリースはどうなるのか？そのままか？

**横浜 FC)**

A. 現状申込みが来ている方たちには、見送りの連絡はさせていただいていてストップしている状態。特に取り止めるようなリリースを単体で出すことはない。

今回、団体登録していただいた場合、クラブが団体を承認した事実として団体名は出させていただくことになるので、そこの擦り合わせはする必要がある。

**応援団体)**

Q. コールリーダーの話をしていくためには、団体として登録することが条件になっているということか？

**横浜 FC)**

A. 現状は、団体登録と個人登録も OK になっている。

**応援団体)**

オフィシャル応援エリアに登録というシンプルにそれだけでいいと思う。団体も個人も。

Q. 団体登録となると様々な考えの人がいるので、今すぐ登録するとは約束できない。

1 週間を目途にと回答を言われたが、団体として考えた場合に 1 週間で回答は集まらなければいけないし、集まっても 1 つの答えが出るとは限らない。

**応援団体)**

12 月に出した申請と要望に対しての回答として、ドレスコードの着用義務の部分はクリアになってきたので、1 週間でどのような回答になるかわからないが一度持ち帰って検討する。

**横浜 FC)**

A. 団体登録できないということとセットになってくるのが、団体名の掲出物も紐づいてくる点は懸念だと思う。1 週間での回答は難しいとのことだが、開幕前日までどうなるかわからないというのも難しいので、可能性であっても一定のスケジュールの仕切りは必要なので土日をもう一度挟んだ 2 月 14 日（火）などはどうか。

**応援団体)**

Q. 話を持ち帰り、万が一団体としてはやはり登録できないとなった場合はどのようなリリースとなる？

横浜 FC)

A. 登録がなかったからここで終わりという話ではなく、次にまた対話していき、納得できる落としどころなのか、どこに引っかかっているのかを明確にしてまた話すことで話が進むと考えている。

応援団体)

Q. 結局のところ応援側が違和感を覚えるのは、条件をつける「強制」だと思う。

例えば、「現状を改善すること」の認識も人それぞれ違うから、クラブが「こういうふうに改善したいです」という話があった場合に、しっかりと対話してくれるという約束というか意思表示などがあるのであれば姿勢が変わる。

「これはこうあるべき」だけでは「それはのめない」という反応になってしまうので、協議をしたうえで変えていくというのを示していただけるのであれば登録の方向も進みやすいと思う。

横浜 FC)

A. 資料の文字面はそう見えるかもしれないが「応援の中心としてクラブと【一緒に】協力していくこと」という想いである。クラブがゴール裏から歩み寄ることを待つことではないので、クラブと団体と一緒に協力していくことが本来のニュアンスになる。

応援団体)

Q. 先日応援団体から出した文の中に「対等に話し合い、ともに創り上げていく一体感を目指す」というものと同じ意味でいいか。

横浜 FC )

同じだが、ゴール裏を改善することに関しては、クラブが言っている自由の中に秩序を持たせるのは主管者としては必須になるので、そういう意味で捉えてください。

これが満員にしていくこと、HAMABLUE に染めていくところと将来的に繋がっていく。直近ではなく、長い話だと思うので、そういう目線で見えていく必要がある。

応援団体)

話せば意味合いが分かる。文字だけ出てしまうと、直接話していない人にそれを伝えようとすると「え？」ってなってしまう。

幕に関しても、出したいけど、どちらかというと優先順位は幕を出すことではなく、チームを応援することだから、かといって幕が必要ないわけではない。

持ち帰って検討し、話し合う。

ここまで議題に関する議論。

---

### ■クラブから伝えた再審査の結果

以前に申請いただいた 29 件の掲出物を 1 つ 1 つ承認の可否を説明。

横浜 FC でカラー基準とデザイン基準の 2 つを設定しているが、禁止基準が分かりにくい  
とご意見を頂いていた。その中で掲出の禁止項目を上げた。

---

カラー基準 : クラブカラーをメインに使用※HP 参照

デザイン基準 : 横浜 FC チーム、選手への応援を連想させるデザイン※HP 参照

以下の禁止項目と、クラブが判断したものに関しては掲出が不可となります。

#### 【掲出禁止項目】

- ・ 政治的、思想的、宗教的主義、主張または観念を表示し、または連想されるもの
- ・ 差別的、侮辱的、暴力的な内容、表現を含むもの
- ・ 選手やチームを応援または鼓舞する目的が認められないもの
- ・ 主催者が認めている以外の特定の会社、商品、企業の宣伝になるもの
- ・ 大会の運営に支障を及ぼすおそれがあるもの
- ・ 公序良俗に反するもの、もしくはそれらの恐れがあるもの

⇒ 「死」や「犯罪」、「暴力」、「悪」、「侮辱」など

⇒ 醜悪、残虐、暴力、猟奇的なイメージを与えるおそれがあるもの

⇒ 暴力、賭博、麻薬、売春などの行為を肯定・美化したもの

#### 【その他】

- ・ メモリアルメッセージは当日申請可（場外総合案内所に窓口設定予定）
- ・ 所属選手の国旗は掲出可（事前申請不要）

---

上記の理由によって NG となったもの、人によってとらえ方が違うものはあると思うが、  
トラブルのもとになる可能性があるものは認めることができないと回答した。

応援団体)

Q. 今まで 10 年間掲出してきて問題になっていないようなものを問題とする所には、表現  
の自由があるのに簡単にそうですかとは言えないのだが。

横浜 FC)

A. 今後、たくさんのお客さんが増え注目度が上がる中ではクラブとしては許容できない。

応援団体)

Q. 人が増えることは表現の価値観や仕方にも色々な考えを持つ人が増えるわけなので、クラブで判断するならばもう少し理解のある範囲（文字面だけで判断するのではなく例えば文脈で見てもらうことなど）が必要だと思う。

横浜 FC)

A. 気持ちはとても理解できるのだが、非常に難しい点でもあるがクラブとしても複数人で話し合い、NG の判断とさせていただいた。

応援団体)

Q. 申請を継続するのであれば、その都度判断できるということなので検討してもらいたい。

横浜 FC)

A. 今後のデザインの所などは都度確認し相談させていただきたい。

応援団体)

一部修正するなどして掲出可となるのか。改善できるものには改善して、団体としては出せるようにしていきたいと考えている。

横浜 FC)

修正し再審査の結果、問題ないと判断できれば掲出可とすることはできる。